

2013年度 事業および運営に関する報告

(2013年4月～2014年3月)

[2013年度の総括]

[事業面] ※後段の「事業報告の詳細」参照

1 ●事業展開において重視した点

社会の動向

少子高齢社会となり、私たちの生活課題の深刻化・顕在化は進み、かつ、社会・経済・政治の状況もグローバルレベルで流動的な様相をきたす中、貧困・環境・福祉など、



2014年5月1日付 NHKニュースより

国を問わず共通する課題も散見される。

また、今月初めには、人口がすでに減り始めている地域がみられ、いずれ、介護や医療など社会保障分野の雇用が減り、金融機関や小売業などにも影響が出て若者の流出に歯止めがかからない事態が予想され、将来的には存立が危ぶまれる自治体も出てくるとの報道がなされた。(※上記イメージ図) 持続可能で安全・安心な地域のあり方が、いよいよ待ったなしで問われる段階に突入している。

福岡県内のNPOの動向

現在、福岡県内でも、特定非営利活動法人として活動する団体は1700団体を超え(2014年3月末現在/所轄庁:福岡県・福岡市・北九州市)、依然、漸増傾向にある。

しかしながら、福岡県を含む全国各地で、情報公開(事業報告書の提出等)を怠っている団体やさらには解散するNPO法人も増えており、加えて、新たな会計基準(NPO法人会計基準)も法定化された以上、法人格を有する団体も含め、真に社会や地域に信頼されるセクターとしてのあり方がいよいよ問われる時機に入っている。

行政の動向

多くの地方自治体は、ここ10数年来、「協働」や「市民活動支援」といったアプローチを施策上に打ち出しており、その流れの中で、従来から行われてきたNPOへの資金的支援や市民活動支援拠点施設の整備に加え、協働の取り組みを誘発させるためのマッチングの仕組みづくり（提案公募型事業）に乗り出すところもみられる。他方、最近は、長らく地域活動を担ってきた自治会・町内会等の地縁組織の改編の動きが強まってきており、とりわけ基礎自治体（市町村）では、協働や市民活動支援施策よりも、こちらに注力する向きすらみられる。いずれも、行財政改革の文脈で捉える向きもみられ、「協働」や「コミュニティ」をそのための一手段として位置付ける風潮が、行政内部において、益々強まらないかと憂慮している。

企業の動向

企業においては、CSR（企業の社会的責任）やSR（組織の社会的責任）への関心が、福岡のような地方都市にある企業でも徐々に高まっており、その一環として、NPOへの支援や連携関係を模索する企業も出てきている。数年前までは専ら大都市に本社を置く大手企業の関心対象であったが、最近では、地場の大手や中小企業レベルでも、勉強会等を開く動きが出てきている。行政の中には、NPOと企業との協働を政策的に推進する動きもみられ、これが真に社会や地域に貢献する活動領域の拡大へとつながるか、注視する必要がある。

市民（個人）の動向

内閣府が行った「平成25年度市民の社会貢献に関する実態調査」（2014/1/25付発表）によれば、過半数がボランティア活動に関心があると答えており、東日本大震災の被災地支援を目的とした多くのボランティアや寄付の動きを背景に、個人の社会貢献意識が高まっている。ここ福岡でも、災害支援に限らず、「プロボノ」等の形で社会貢献を志向する人々が散見され、当センターで2011年度より始動しているプロボノ（仕事の専門性やノウハウを、社会貢献活動として発揮するボランティア）のコーディネーションの取り組みにおいても、その傾向が見てとれる。

ただ、上記調査結果の中に、時間確保（全体の約50%）や経済的な負担（全体の約30%）等の理由から、実際にはボランティアに参加しづらいという声も多く、大きな経済成長も見込めないため、この傾向が一層強まることも懸念される。

当センターの指針

以上のような動向を傍目に、2013年度については、NPO・企業・行政等を対象とした力量形成のための研修やマッチング、NPOの組織基盤強化（キャパシティ・ビルディング）に注力した。

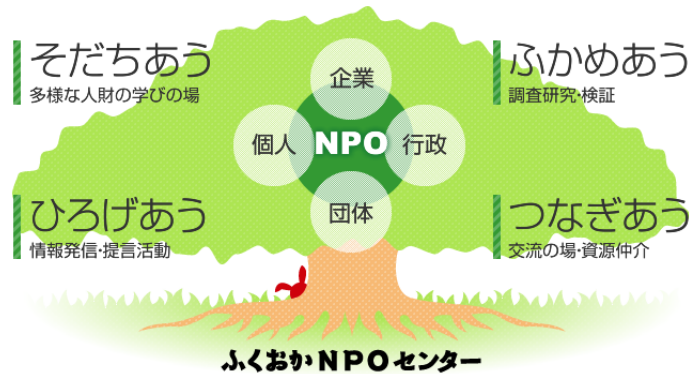
また、NPOやボランティアとしての活動者や関心者は今後も増えることが予測され、法人化している団体も含め、NPO関係者や一般市民が、NPOやボランティアの基本的理解を確かめたり、自らの活動のありようについての認識や検証を促すことは、やはり意義深いと考え、後述の「SAVEJAPAN プロジェクト」や「NPOどんどこプロジェクト（子どものための児童館とNPOの協働事業）」

をはじめ、外部組織とタイアップした形での機会を提供した。

加えて、新たなチャレンジとして、県内の人口減少地域に向いての地域活動の担い手の発掘・育成のプログラムの企画および講師派遣も行った。

2●事業の主な実施手法

ミッションの4つの柱「ひろげあう」・「そだちあう」・「ふかめあう」・「つなぎあう」に即して取り組んだ。



4つの柱ごとの事業の詳細は後述するとして、自主事業としては、継続事業である月例イベント「5丁目カフェ うさぎ」を、NPOの現場体感ツアーを主とする形でリニューアルした「NPOみききカフェ」や、企業からNPOに物品を橋渡しするサービス「つこーちゃん?」、さらに、災害関連の支援活動として、ソーシャルメディアを活用しての東日本大震災関連の情報収集・発信活動や、被災地支援に取り組むNPOを資金面で支援する助成プログラムの広報PR活動、現地の市民活動団体の組織基盤強化のサポート、震災後のNPOの動きを知るイベント等に取り組んだ。

また、ネットワーキングの活動として、事務局として運営協力しながら参画している行政関係者有志の自主勉強会・「パートナーシップ研究会(ぼ〜研)」を引き続き行った。他方、企業関係者有志の自主勉強会「企業市民ネット九州(KIQ)」は会合としては開催しなかったものの、個別の相談によりマッチングを行った。

他方、行政からの受託事業として、主に行政内部向けの協働の環境整備プロジェクトとして2007年からの「佐賀市協働ステップアップ事業」(佐賀市と協働)に取り組んだ。

また、民間ベースの事業として、北九州市内の児童館を対象とした「子どものための児童館とNPOの協働事業(NPOどんどこプロジェクト)」(協賛:財団法人住友生命社会福祉事業団)、「Panasonic NPO サポート ファンド」の助成先のNPO 2団体への組織基盤強化に係るコンサルテーション(助成:パナソニック株式会社)、公益財団法人福岡県地域福祉財団と共催での「NPO・ボランティア助成プログラム合同説明会」、特定非営利活動法人日本NPOセンターの「東日本大震災の被災3県におけるNPO育成・強化プロジェクト」、2012年度より同センター・株式会社損害保険ジャパン・日本興亜損害保険株式会社とともに実施している生物多様性をより多くの市民とともに学ぶ「SAVE JAPAN プロジェクト」に取り組んだ。また、中央共同募金会の「災害ボランティア・NPOサポート募金」や、共同募金改革のためのモデル事業にも委員として参画した。さらに、公益財団法人九州経済調査協会とともに、企業における障害者雇用促進の可能性についての調査研究事業に

も取り組んだ。

その他、全国的なネットワークでの活動として、引き続き、「NPO/NGOに関する税・法人制度改革連絡会」・「社会的責任向上のためのNPO/NGOネットワーク（NNネット）」・「NPO法人会計基準協議会」に参画した。

以上は、総じて、これまでに蓄積してきたノウハウやネットワークを生かしながら、従来の事業をより深化・充実させる姿勢で活動を進めると同時に、多様なセクターの関係者にお力添えをいただきながら、取り組んできた次第である。

3●これまでになかった点

▼地域における活動の担い手の発掘および育成のチャレンジ

人口減少と高齢化が進む筑豊地域（福岡県）の田川郡福智町において、「FUKUCHI地域活動スタートアップ講座」と銘打ち、新たな担い手の発掘と、度々なる学びや試行のカリキュラムを通じた活動への離陸支援を行うことができた。とりわけ、この小さな町において、複数の若い世代の参加もあり、世代を超えた仲間づくりが図られたのは意義深い。

▼行政資金の最小限化

昨年度まで2か年継続受託した内閣府「新しい公共支援事業」が終了し、外部資金への依存度が高まったことへの反省から、今年度は行政の事業は最小限（佐賀市の事業のみ）とし、収支の損失は出たものの、活動の自由度や新規性を生み出すことができた。

▼特定課題へのアプローチ

シンクタンクとともに、特定課題（障害者の社会参画、雇用確保）に着目した調査研究を行った。テーマおよび形態の両面において初の試みとなり、互いの強みを活かす経験ができた。また、行政（北九州市役所）からシンクタンクへの委託調査という枠組みであったため、確かな提言も図ることができた。

▼しくみへの提言のさらなる機会

官民を問わず、現行の制度や事業について、個別での相談や会議への参画などの形で、ブラッシュアップのための提言機会が増えた。中でも、市民活動分野では比較的知名度の高い助成プログラムに関する委員参加の機会もあり、民間NPO支援組織としての立場から提言を図る余地が広がった。

4●反省点

例年の反省点であるが、事業のボリュームが相応であるため、もろもろの取り組みについて、綿密な記録化や、情報の整理等まで至らぬまま、追われるままに過ぎてしまった感が否めない。

[運営面]

1●運営面において重視した点

数年来、依存財源（特に受託事業）の比率が高くなってきたことから、前述の通り、

今年度は行政の受託を最小限化するチャレンジを行うとともに、自主財源の確保のために、特に会員制度に力点を置いて、入会のPRを意識的に行った。その結果、会員数も11口増加するに至った。

2●運営面の取り組み状況

▼理事会

理事会の開催実績は、計3回(9/12第31回理事会、11/7第32回理事会、5/22第33回理事会)である。事業および運営の進捗を共有し、課題やアイデア等を討議した。あわせて、日々メールリングリストも活用している。

▼評議員会

2013年度中の評議員会の開催実績は、計2回(10/1第3回評議員会、5/16第4回評議員会)である。今後の事業展開の参考とさせていただくべく、中長期的観点からの方向性等についてのご意見をいただいた。

▼事務局

引き続き、常勤2名体制で、福岡市中央区天神5丁目内に事務局を置く形で運営した。(原則として、月曜～金曜 9時半～17時半に活動)

▼ボランティア受け入れ

年々、ボランティアやインターンが活動する機会が増えてきた。また、従来から取り組んでいるボランティアお試しプログラム「ぼらタイム」の他、2011年度より継続受け入れ中の株式会社ジェーシービー九州支社の社員ボランティアプログラム、福岡市NPO・ボランティア交流センター(あすみん)にてコーディネートされている「ボランティアインターンシップ」を通じて参加される方が複数おられ、参加型で風通しの良い組織づくりのための試みをしているところである。こうした正規のボランティア受け入れプログラムの他、空いた時間を活用した単発的な個人ボランティアが目につき、メール等で問合せをいただくケースも増えている。中には常連化されている方もおられ、かつ、学生も複数参加をいただいております。各人にとって、「市民活動」の世界へのいざないともなり、また楽しいコミュニケーションの機会ともなるため、事務局としては喜ばしく心強い事である。

3●これまでになかった点

▼理事会・評議員会

いずれも改選を経て、理事会・評議員会ともチームとしての意識もより一層生まれている感がある。理事会については、まちづくり分野でご活躍の新任理事1名をお招きし、事業面でも機動力が増した。また、評議員会については、中長期的観点から、各委員の知見にもとづくご意見をいただき、それらを理事間でも参考とさせていただく流れが生まれている。

▼事務局

社会貢献分野の実務経験のあるスタッフをお招きし、日々の事務局運営を円滑に分担化できている。引き続き、日々の業務日報を役員ML上で共有し、コアメンバー間での情報や課題の共有を図ってきた。また、ボランティアのサポートも借

りながら、月例の情報発信（DM発送）や事務所内の環境整備にも注力した。県内外のさまざまなセクターの来客が前年度に比べて増え、拠点的な役割を期待されているとの実感があつた。

4 ●反省点

経年の課題として、進行中の事業や運営に係る、都度必要になるような書類が散在しており、内容別の整理や所在の情報共有、個人情報等重要な情報を記載している資料の保管のあり方を日頃から進めておくことが必要である。

[事業報告の詳細]

※「★」は2013年度中、新規に取り組んだもの。「★」の無い事業は、継続事業。

※以下、定款第5条「事業」各項の順にて記載。

地域の課題解決をこころざすさまざまな組織の人財の育成・強化に関する「そだちあう」事業 ～個別相談、リーダー間の学びの場づくり、各種専門研修、連携・協働に関する 研究会活動～

■「NPOヨモヤマ相談。」

- ・計3件対応（有料対応分 前年度比 -1件/NPO、企業等）
- ・その他、個別相談に準ずる内容に関する対応状況 … 電話= 88件（前年度比 -10件）
メール=299件（前年度比 +8件）

■NPOの組織基盤強化（キャパシティビルディング）の支援

- ①東日本大震災被災3県を対象とした市民活動団体（NPO）育成・強化プロジェクト
（主催：特定非営利活動法人日本NPOセンター、協力：特定非営利活動法人ワールドビジョンジャパン）
 - ・詳細：http://www.jnpoc.ne.jp/?tag=npo_ocb_pj
 - ・実行委員、集合研修講師、宮城県内の3団体（特定非営利活動法人みやぎ宅老連絡会、特定非営利活動法人FORYOUにここにこの家、特定非営利活動法人せんだい・みやぎNPOセンター）のスタッフのメンターを7月まで担当。
- ②組織基盤強化のための助成プログラム「Panasonic NPO サポート ファンド」関連
 - ・2012年度に引き続き、下記2団体の支援を担当。
 - 特定非営利活動法人ちいさいおうち共同保育園（福岡県北九州市） 計6回訪問
 - 特定非営利活動法人シンフォニーネット（山口県下関市） 計9回訪問
 - ・詳細：<http://panasonic.co.jp/citizenship/pnsf/>

■「FUKUCHI地域活動スタートアップ講座」（主催：福智町・福岡県）★

- ・田川郡福智町にて、地域の課題に関心をお持ちの方を対象に、活動の備えとしての学びと初動段階を応援する計7回シリーズ企画。
- ・30～80歳代にわたる計18名が参加し、5チームが始動。次年度も支援予定。
- ・詳細：<http://www.npo-an.com/event/archives/30>

■「ウェブ広告のススメ ～Yahoo! JAPAN で広報してみませんか？」

(主催：ヤフー株式会社・当センター) ★

- ・ウェブ広告を有効活用するためのノウハウを学ぶセミナー。あわせて、同社の社会貢献プログラム（無料広告支援）も紹介。22名参加。
- ・当日の様子：http://blog.livedoor.jp/npo_an/archives/50904701.html

■講師派遣事業 * 2013.4月～2014.3月実施分。原則として古賀で担当。カッコ書きはテーマ。

通年	福岡県市町村職員研修所 一般職員二部研修 講師 (2日間×7回)	[協働、政策形成能力、コミュニケーション能力]
通年	福岡県市町村職員研修所 政策課題研修 “四王寺塾” コメントータ (中間発表会、最終報告会)	
13/5月-6月	長崎県提案公募型事業「NPOと県がともに働くプロジェクト」	企画力&プレゼンカピカピカ講座 講師 (計4回)
13/05/10	北九州NPO研究交流会 定例会 講師 [中間支援組織とは]	
13/05/13	鹿児島市「NPOネットワーク構築事業～ネットワークで出来る事」ファシリテーター	
13/05/17	おおいたNPOデザインセンター 総会記念講話 講師 [中間支援組織とは]	
13/06/12	福岡県立社会教育総合センター社会教育専門研修 「広報力アップ実践講座」講師	
13/6-7月	県民ボランティア活動支援センター(長崎県)「大村市NPO・ボランティア実践講座」講師	
13/06/20	岩手県陸前高田市でのNPOの組織基盤強化研修 講師	
13/06/22-23	全国要約筆記問題研究会 in 久留米 講師 [広報スキルアップ]	
13/06/28-29	日本NPOセンター「NPO支援センター初任者研修会2013」講師 [コーディネータ]	
13/07/08	宮城県仙台市でのNPOの組織基盤強化研修 講師	
13/08/06-08	佐賀市 職員研修 講師 [協働]	
13/08/04	平成25年度中間・遠賀地区社協連絡協議会職員研修会 [企画力]	
13/08/10	文部科学省 社会教育主事講習 講師 [NPO概論]	
13/08/20-21	金沢市 職員研修(新任課長補佐対象) 講師・ファシリテーター [協働]	
13/08/24	ひろしまNPOセンター「伝えるコツセミナー」 講師	
13/09/10	日本生活協働組合連合会 リーダー育成研修 講師	
13/09/13	水巻町(福岡県) 起業志望者のための広報スキルアップセミナー 講師	
13/09/17	神戸市社会福祉協議会「地域見守り支援者全市研修会」 講師	
13/9月-10月	飯塚市 中堅職員対象「政策形成&コミュニケーション力UP」研修(2日間)	[企画力、ファシリテーション、プレゼンテーション]
13/10/3,25	島根県自治研修所 新規採用職員研修 講師 [協働] (東部・西部 計2回)	
13/10/8-9	大分県 土木建築部 技術職職員対象 ワークショップ ファシリテーター研修 講師	
13/10/29	明るい選挙推進協会ワークショップ 進行役 [ボランティアコーディネーション]	
13/11月中	長崎県 NPO広報スキルアップ研修 講師 (計3回)	
13/11/9	平成25年度中間・遠賀地区社協連絡協議会 交流会 コーディネーター	
13/11/12	遠賀町役場 協働に関する講演 講師	
13/11/14	佐賀県 NPO広報スキルアップ研修 講師	
13/11/23-24	全国ボランティアフェスティバル in こうち 分科会コーディネーター [企業との協働]	
13/12/01	北九州市立生涯学習センター「まいなびフォーラム」	分科会パネラー [ネットワークづくり]
13/12/05	佐賀県立男女共同参画センター・佐賀県立生涯学習センターアバンセ	「家庭教育支援者等リーダー養成講座 ～広報スキルアップ～」 講師
13/12/07	廿日市市(広島県)「伝えるコツセミナー」 講師	
13/12/19	福岡県地域福祉財団 ボランティア・NPO助成合同説明会 コーディネーター	
13/12/25	宮崎市民活動センター 「ひむか協働商談会」 講演講師・ファシリテーター	
13/01/24	長崎県社会福祉協議会&県民ボランティア活動支援センター「中間支援組織研修」講師	
13/01/25	ふくおか市民政治ネットワーク「市民運動助成金交流会」 ファシリテーター	
14/02/01	つやまNPO支援センター(岡山県津山市)「ファシリテーター養成講座」 講師	

14/02/04	電通+NPO広報力向上委員会 伝えるコソフォーラム
14/02/05	宮崎市役所 中堅職員研修 講師・ファシリテーター [協働]
14/02/08	福岡県男女共同参画センター・あすばる 「ロールモデルによるパネルディスカッション in 筑豊」コーディネーター
14/02/10	佐賀市 NPO・行政合同研修「協働劇場」 講師
14/02/16	愛媛県社会福祉協議会 「ボランティアマネジメント研修会」 講師
14/02/19&3/8	県民活動支援センター「ボランティア・NPO実践講座」 講師
14/02/23	宮崎県「NPO企画力等向上研修」 講師
14/02/24	TOTO 株式会社 ステークホルダーダイアログ コメントータ
14/02/25	宇佐市(大分県) NPO&行政職員合同研修 講師 [協働]
14/02/27	天草市(熊本県) NPOマネジメント研修 講師
14/02/28	九州経済調査協会 「九経調イブニングセミナー」 スピーカー
14/03/05	広島県社会福祉協議会 市町ボランティアセンター等職員養成研修 講師 [広報力]
14/03/07	朝倉市 「1度で3度おいしく学べる! まちづくりパワーアップ講座」 講師
14/03/11	TOTO 株式会社 TOTO 水環境基金 助成対象団体研修会 講師
14/03/19	北九州市社会福祉協議会 「企業のための社会貢献活動セミナー」 講師
14/03/22	平戸市社会福祉協議会(長崎県) ボランティア連絡協議会 研修会
14/03/23	上毛町 「地域づくり活動成果発表会」 コメントータ
14/03/25	北海道国際交流センター「つながりかたを考えるアフタヌーントーク ～草の根から、社会を描く。」 ゲストスピーカー

民間非営利組織(NPO等)・企業・行政等が担う社会貢献分野にかかる調査研究および提言に関する「ふかめあう」事業～調査研究、セクター別/間のよりよい協働の環境づくりのための研究・検証活動～

■「佐賀市協働ステップアップ事業に関するコーディネーション委託業務」

(佐賀市との協働/受託)

- ・佐賀市の協働の実態を検証し、施策をブラッシュアップするためのプロジェクト。
2007年5月より始動。
- ・活動内容

【2007年度実績】

実態調査(アンケート+ヒアリング)、トップ研修(三役含む)、協働に関するNPOおよび行政双方からの相談対応、「佐賀市協働情熱チーム」の編成+特訓(研修)、「佐賀市協働出合いフェスタ」の開催

↓

【2008年度実績】

実態調査(アンケート+ヒアリング)、08年10月より「協働相談会」(予約制の個別相談サービス)を開設、「佐賀市協働出合いフェスタ」の開催(計3回/事例発表と交流)、市職員対象の「佐賀市協働情熱チーム BootCamp!」(11月)およびNPO&市職員対象の「佐賀市の協働を進めるトレーニング研修 “協働劇場”」(09年1月)(協働推進に係る人材育成)

↓

【2009年度実績】

実態調査(アンケート+ヒアリング/47回=行政担当部署のべ42、市民活動団体5、財団法人1、企業1)、「協働相談会」(08年10月に開設した予約制の個別相談サービス/2009年度中は5件対応)、「佐賀市協働出合いフェスタ」の開催(計4回/事例発表とセクターを超えた交流の機会として/累計8

回)、冊子「佐賀市協働力本」の作成・発行



【2010年度実績】

佐賀市内で活動するNPO306団体を対象に、協働のニーズや課題等を問うアンケート調査および7団体の訪問調査を行い、佐賀市との協働の現況や課題についてキャッチした。この内容の一部を、2011年4月付の市報に事例紹介として掲載した。並行して、折々で、当事業の担当課（市民活動推進課）とも、適宜、協働の施策のあり方等について助言や意見交換を図っている。



【2011年度実績】

隔年での佐賀市役所庁内の協働実態調査およびヒアリングと、企業向けのアクションを新たに探るべく、2012年度を見越したアンケート調査の設計を行った。また、「佐賀市協働情熱チーム」なる、協働に熱意と感度のある職員を対象とした研修を行った。並行して、折々で、当事業の担当課（市民活動推進課）とも、適宜、協働の施策のあり方等について助言や意見交換を図っている。



【2012年度実績】

佐賀市役所庁内の協働実態調査およびヒアリングとあわせて、企業向けのアクションを新たに探るべく、2011年度より準備していた社会貢献活動に関するアンケート調査を市内に本社を置く企業を対象に実施した。その結果、204社（回答率 34.9%）から回答を得、社会貢献活動に実際に取り組んでいる企業数は少ないながらも、概ね前向きで、佐賀市の市民活動支援や協働推進施策にも今後活かせる足がかりを得た。また、市役所庁内の協働の理解度とモチベーションを上げるために、「こちら協働診療所」なる現場の協働事例研究を主とした研修や、全職員向けの研修「協働劇場」を行った。前者では、「佐賀市協働情熱チーム」なる、協働に熱意と感度のある職員その他、新たな職員の参加も得、研修の後、同チームのメーリングリストに新たに10名を追加するに至った。並行して、折々で、当事業の担当課（市民活動推進課）とも、適宜、協働の施策のあり方等について助言や意見交換を図っている。



【2013年度実績】

佐賀市役所庁内の協働実態調査（アンケート調査：対象180部署、回答163／回答率90.6%）およびこのアンケート調査を踏まえたヒアリング調査（12部署・14事業）を実施した。あわせて、調査市役所庁内の協働の理解度とモチベーションを上げるために、「こちら協働診療所」なる現場の協働事例研究を主とした研修や、全職員向けの研修「頻出！過去問10選よくある弱点対策 “協働劇場”」（シリーズ第3版）を行った。前者では、「佐賀市協働情熱チーム」なる、協働に熱意と感度のある職員その他、新たな職員の参加も得、研修の後、同チームのメーリングリストに新たに3名を追加するに至った。並行して、折々で、当事業の担当課（市民活動推進課）とも、適宜、協働の施策のあり方等について助言や意見交換を図っている。

なお、佐賀市の協働推進施策刷新に向け、NPO・企業・地域・行政といったさまざまなセクターの関係者が一同に会しての対話（ステークホルダー・ダイアログ）を初めて開催した。この席では、現行の施策へのご意見とあわせて、発信力を高めて佐賀市内の大学等の地域資源を活用すること、NPOが地域課題に積極的にアプローチをする必要があること等といった示唆もいただいた。

- 「北九州市の多様な主体間の連携による障害者就労支援・雇用促進策研究プロジェクト」★
(北九州市、公益財団法人九州経済調査協会との協働／受託)
 - ・企業主体ないし企業をはじめとする多様な主体間の連携による障害者就労支援・雇用促進策を研究するプロジェクト。当センターは、先進事例調査の調査対象の選定および計12件の実査を担当。調査の成果は、同市における今後の検討材料として活用予定。

- 各セクターの有志による研究会活動への参画
 - ・「企業市民ネット九州（通称：KIQ／きっく）」
企業の社会貢献担当者ないし関係者の有志が主体で、08年1月より始動。
詳細：<http://www.npo-an.com/event/archives/21>
今年度は、個別相談に対応する形を取った。（その一例として、ある企業の社会貢献活動案件についてのマッチング調整を担当した）

 - ・「パートナーシップ研究会（通称：ぱ～研）」
福岡県および佐賀県の基礎的自治体（市町村レベル）の市民活動支援や協働を志す行政職員有志による勉強会活動。08年1月より始動。当センターは事務局として参画。議会期など繁忙期を除き、一定のテーマに基づいて情報を持ち寄り、意見交換を行い、終了後は懇親会を行い、ネットワークづくりを図る。計13自治体17名が参加。
2013年度中は以下2回開催した。また、年の瀬には忘年会も行った。
 - 7/18 第15回「ぱ～研（パートナーシップ研究会）」（筑紫野市）
詳細：http://blog.livedoor.jp/npo_an/archives/50896410.html
 - 11/16 第16回「ぱ～研（パートナーシップ研究会）」（大牟田市）
詳細：http://blog.livedoor.jp/npo_an/archives/50902262.html

地域の課題解決をこころざすさまざまな組織やキーパーソンの連携・協働のコーディネーションに関する「つなぎあう」事業 ～対話、交流、資源の仲介～

- 「子どものための児童館とNPOとの協働プロジェクト」
(主催：日本NPOセンター、共催：(財)児童健全育成推進財団、協賛：(財)住友生命社会福祉事業団)
 - ・行政の縦割りを超えて地域の課題に主体的に取り組んできたNPOと、子どもの拠点として活動してきた児童館との連携によって、子どもが地域の課題に触れる機会を提供し、子どもたちと地域が共に気付き、学びあう環境を創出するためのプロジェクト。2007年5月より始動。専用サイト <http://www.npo-dondoko.net/>
 - ・これまで、下記の5地域で実施。
新潟（新潟NPO協会）、金沢（いしかわ市民活動ネットワークセンター）、
仙台（せんだい・みやぎNPOセンター）・京都（きょうとNPOセンター）、
福岡（当センター）
 - ・2011年度より、水平展開のために、全国の児童館を対象とした公募助成へシフト。
 - ・小倉北区3館・小倉南区2館・八幡東区1館・八幡西区1館の計7児童館合同で、黒崎商店街内にて、子どもたちが企画段階から運営に至るまで参画する形でのお化け屋敷プログラムを実施した。一連のプロセスで、特定非営利活動法人 KIDs

work および大塚恵美子氏（劇団夢の工場）に協力いただいた。

■福岡版プロボノ活動推進プロジェクト “ふくおか かつぎて けいかく”

- ・さまざまな得意を持つ人を NPO にコーディネートするプロジェクト。
- ・「かつぎて」 — 「か」おで／「つ」ながる／「ぎ」じゅつの／「て」だすけ の意。
- ・登録数（2014/3/31 現在）：かつぎて…79 名、NPO…33 団体
- ・実績：NPO の事業戦略全般のコンサルテーションを、企業に属するかつぎてが担当。他、計 12 件の取り組みが成立中。
- ・専用WEB：<http://www.fukuoka-katsugite.net/> Facebook ページも有

社会貢献分野にまつわる民間非営利組織（NPO等）・企業・行政等多様な主体に関する情報の環境整備に関する「ひろげあう」事業 ～情報活動、提言、キャンペーン等～

■「NPOみききカフェ」

（主催：当センター）

- ・2007年夏より開催。2013年12月よりリニューアル
- ・詳細：<http://www.npo-an.com/event/archives/33>
- ・当日の様子
 - 12/4(水) 抱僕館福岡
(社会福祉法人グリーンコープ&特定非営利活動法人北九州ホームレス支援機構)
http://blog.livedoor.jp/npo_an/archives/50903019.html
 - 2/25(火) 特定非営利活動法人アートマネジメントセンター福岡
http://blog.livedoor.jp/npo_an/archives/50906306.html

■いきもののありようを市民参加型で学ぶ全国企画 「SAVE JAPAN プロジェクト」

（主催：47都道府県の環境NPO、共催：当センター・特定非営利活動法人日本NPOセンター
協賛：株式会社損害保険ジャパン・日本興亜損害保険株式会社）

詳細：<http://savejapan-pj.net/sj2013/>

- ・47都道府県のNPOと地域の皆さま、損保ジャパンが一緒になって、全国各地の「いきものが住みやすい環境づくり」を行うプロジェクトとして、福岡でも、2012年度より2か年にわたり、県内のNPO・5団体（累計）によるユニークなプログラムを実施中。
- ・2013年度の開催状況
 - ①9/14（土）18:00-20:30「どきどき！虫さがしナイトハイキング」 in 那珂川町
実施NPO：まほろば自然学校（他2回も同団体が担当） 44名参加
 - ②10/14（月・祝）10:00-12:30「どこかな？森の小さな住人」 in 太宰府市 39名参加
 - ③11/23（土）13:00-16:00「びっくり！西公園のすてきないきものたち」
in 西公園（福岡市） 52名参加

■12/19(木)「NPO・ボランティア助成プログラム合同説明会」

（主催：公益財団法人福岡県地域福祉財団、当NPOセンター）

- ・市民活動を対象とした県内の5つの助成プログラムの担当者とはじかにコミュニケーションを持てる機会として開催。前半では各プログラムの説明、後半では質疑応答を実施。
- ・NPO・企業・行政等から60名が参加。
- ・当日の様子：http://blog.livedoor.jp/npo_an/archives/50903573.html

- 11月～3月 西日本新聞「このゆびとまれ ～みんなが主役の地域づくり～」計13回連載
 - ・5年ぶりに、西日本新聞の毎週月曜（原則）の紙面で、多様な主体間での参画や協働（マルチステーク・ホルダー・プロセス）による課題解決の取り組みをご紹介する取材・執筆を担当。
 - ・ご参考（初回の掲載例）http://blog.livedoor.jp/npo_an/archives/50902311.html

■災害支援に関わる活動

東日本大震災関連

①情報活動

以下2種類の情報媒体を運用。

twitter → <http://twilog.org/fnpoc>

（まとめ読み可能／随時更新中／Facebookと連動）

ブログ → <http://j.mp/fzH0MS>（"）

②募金活動

被災地に関わるNPO活動の支援につながる募金プログラムの広報PR面での支援を、「被災地をささえるNPOを、わたしたちで、ささえませんか。～もうひとつの、「私たちにできること」～」と銘打って実施中。目下、以下の4つのプログラムを対象としている。

「東日本大震災現地NPO応援基金」 日本NPOセンター

<http://www.jnpoc.ne.jp/?tag=311jisin-fund>

「災害ボランティア・NPO活動サポート募金」 中央共同募金会

<http://www.akaihane.or.jp/topics/detail/id/61/>

「ホープ常磐募金」 茨城NPOセンター・ commons

～茨城県および福島県いわき市も含めた広く常磐エリアの市民活動支援を応援～

<http://www.hope-joban.org/blog/bokin.html>

「被災地NPO応援基金」 市民活動センター神戸（KEC）

～東北関東大震災 被災地のNPOを応援する市民基金～

<http://kobekec.net/index.html>

③被災地のNPOの組織基盤強化を目的とした「NPO育成・強化プロジェクト」への参画

・被災3県のNPOを対象に、集合研修→個別支援（メンタリング）の流れで実施

・詳細：<http://www.jnpoc.ne.jp/?p=2748>

④「赤い羽根 災害ボランティア・NPO活動サポート募金」への協力

・代表古賀にて運営委員として参画

⑤7/11(木)18時～ 赤い羽根「ボラサポ・サロン」in 福岡を開催。60名が参加。

・当日の様子：http://blog.livedoor.jp/npo_an/archives/50896057.html

⑥9/4-6 「防災テーブル”エスペランサ”(希望)」寄贈コーディネート

・(株)星野民藝（本社：福岡県八女市星野村）の防災テーブル”エスペランサ”(希望)を、同社のお申し出により、東日本大震災で被災された福島県および宮城県南三陸町の市民活動・地域活動拠点へ計12セット寄贈するコーディネートに取り組んだ。

・当日の様子

9/4(火) 寄贈立ち会い・1日目（福島県内）

http://blog.livedoor.jp/npo_an/archives/50898755.html

9/5(水) 寄贈立ち会い・2日目（福島県内）

http://blog.livedoor.jp/npo_an/archives/50898857.html

9/6(木) 寄贈立ち会い・3日目（宮城県南三陸町）

http://blog.livedoor.jp/npo_an/archives/50898884.html

■企業からの寄贈品のコーディネーション「つこーちゃん？」

- ・企業からの物品類の寄贈依頼案件について、常設の窓口として、NPO・企業それぞれを対象に、一定の手続の下、コーディネート。
- ・大手企業の他、地場中小企業や個人からも協力あり。

【寄贈元】 企業4社、個人2名

※企業：明治ホールディングス株式会社、株式会社桜井グラフィックシステムズ、福岡市に本社のある企業（非公表）、日本NPOセンター企業会員（非公表）

【物品の種類】 事務用品 14種、電子機器 12種、食品 5種、非常食セット

【提供数】 528ケ

- ・専用サイト <http://www.npomono.info/>

■全国ネットワークへの参画

- ・「社会的責任向上のためのNPO／NGOネットワーク」
会合参加状況
2/20 「地域円卓会議フォーラム 2014」（古賀）

- ・「NPO法人会計基準協議会」

会合参加状況

4/24 NPO法人会計基準協議会 総会（古賀）

9/30 NPO法人会計基準協議会 臨時総会（古賀）

白書作成のための全国調査に際し、福岡市・北九州市のNPO法人認証団体を対象とした調査を担当（大沢）

～その他（各種会合等）～

- ・日本NPOセンター 通常総会（5/24 古賀）
- ・日本NPOセンター 評議員会（10/24 古賀）
- ・民間NPO支援センター・将来を展望する会（CEOミーティング）（8/22-23・11/28-29 古賀）
- ・パナソニック㈱&日本NPOセンター「NPO“支援力”応援プログラム」（7月～ 大沢）

そ の 他

■ITによる情報発信関連の取り組み状況

①ホームページ [NPO庵] (13/04/01～14/03/31)

・10599 訪問（前年比 -1369）、25290 ページビュー（前年比 -4523）

・事務局日記ブログ「NPO庵ノ嘶」でも日々の活動を発信中

（05年11月～、http://blog.livedoor.jp/npoc_an/、twitter・Facebookと連動）

②メルマガ [NPO庵だより]

・2013年度中に計15号を配信、その他号外2回配信（14/03/31 現在 vol.190）

・配信登録者数 3,939名（13/05/30 現在、前年比 +298名）

③twitter [アカウント：fnpoc (<http://twilog.org/fnpoc> /まとめ読み可能)]

・情報発信やコミュニケーションに活用。

・3/11の東日本大震災以降、震災に係る情報活動にも活用。

- ・ Facebook と連動
- ⑤Facebook [<http://www.facebook.com/FukuokaNPOCenter>]
 - ・ 情報発信やコミュニケーションに活用。
 - ・ twitter、ブログと連動
 - ・ いいね！数 463 (14/05/30 現在)

■問合せ等への対応状況 ※前述の相談業務 および 下記のマスメディアの対応件数を除く。

- ①電話 計 526 件 (12/04/01～13/03/31、前年比 -416 件)
- ②メール 計 102 件 (12/04/01～13/03/31、前年比 + 5 件)
- ③来訪等 計 75 件 (12/04/01～13/03/31、前年比 +19 件)
- 合計 703 件 (前年比 -392 件)

■メディア対応状況

- ①取材関係
 - ・ 新聞社より随時 (西日本・朝日・読売・毎日各部局)
 - ・ 電話取材、来訪 計 27 件 (12/04/01～13/03/31、前年度比 -1 件)
- ②記事掲載等
 - ・ 新聞 (イベント案内記事・コメント等、適宜)

■事務局での活動

ニューズレター「みみたぶ」月刊 (07 年 8 月～、10 月号/vol.70 で紙面 2 頁増量)
月例ボランティアプログラム「ぼらタイム」(ご常連 3 名の他、企業からも受入)

【参 考】委員・役員等

古賀桃子...担当分

・ N P O 関係

特定非営利活動法人 M Y P 理事
特定非営利活動法人しょうがい生活支援の会すみか 理事
特定非営利活動法人 N P O 博多まちづくり 理事
特定非営利活動法人まる (工房まる) 理事
アートサポートふくおか 監事
福岡ライフセービングクラブ 監査役
特定非営利活動法人日本 N P O センター 評議員

・ 行政関係

2009 年度～ 福岡県「福岡県青年の翼実行委員会」委員
2010 年度～ 福岡県「N P O ・ ボランティアと企業、行政との協働実践会議」委員
福岡県「共助社会づくり事業運営委員会」委員【終了】
福岡県「森林環境税事業評価委員会」委員
2011 年度～ 長崎県「新しい公共支援事業運営委員会」委員【終了】
2010 年度～ 岡山県備中県民局「協働事業審査会」委員
2010 年度～ 福岡市「都市景観審議会」委員
2011 年度～ 佐賀市「市民活動応援制度”チカラット”審査委員会」委員
佐賀市「ぴかぴか☆協働まちみがきプロジェクト審査委員会」委員

佐賀市「佐賀市民活動プラザソフト事業選定に係る審査委員会」委員
2010年度～ 嘉麻市「自治推進委員会」委員（自治基本条例関連）【終了】
2011年度～ 久留米市「コミュニティ審議会」委員【終了】
2012年度～ 朝倉市「朝倉市提案公募型協働事業審査委員会」委員
2012年度～ 鳥栖市「市民活動支援補助金制度」審査委員

・その他

2009年度～ 「社会的責任に関する円卓会議」ワーキンググループメンバー
（「社会的責任向上のためのNPO/NGOネットワーク」として）

2012年度～ 中央共同募金会「赤い羽根災害ボランティア・NPOサポート募金」
運営委員 兼 下審査委員

「新たな募金手法（ファンレイジング）の開発に向けた改革モデル事業」 アドバイザー